

2005 年度 小委員会活動成果報告

(2006 年 1 月 18 日作成)

小委員会名	基礎構造系振動小委員会		主 査 名：宮本裕司 就任年月：2005 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 振動運営委員会		委員長名：和田 章 主 査 名：三浦賢治
設 置 期 間	2005 年 4 月 ~ 2009 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 初年度は刊行物の内容審議、執筆と講習会の開催、小委員会活動方針の検討 ・ 2 年度は非線形相互作用と建物応答、設計への組み込みをテーマとしたシンポジウムの開催 (2006.12 を予定) ・ 3 年度は非線形相互作用を考慮した設計法についての検討 ・ 4 年度はシンポジウムあるいはPDにて、「非線形相互作用を考慮した耐震設計法」について審議。 		
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無： 無		
	宮本裕司(鹿島)、飯場正紀(国総研)、栗本修(大林)、新井洋(防災科技研)、古山田耕司(鹿島)、白瀬陽一(日建設計)、田村修次(京大防災研)、田守伸一郎(信州大)、中井正一(千葉大)、林康裕(京大)、福和伸夫(名大)、土方勝一郎(東電)、船原英樹(大成)、護雅史(清水)、吉澤睦博(竹中)		
設置 WG (WG 名：目的)	動的相互作用刊行物 WG： 『建物と地盤の動的相互作用を考慮した応答解析と耐震設計』の内容審議、執筆、査読対応と講習会の開催		
2005 年度予算	345,000 円	ホームページ公開の有無： 無 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	5 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	1. 新刊書『建物と地盤の動的相互作用を考慮した応答解析と耐震設計』
講習会	1. 講習会「動的相互作用を考慮した応答解析と耐震設計」 参加者数：東京 215 名、名古屋 93 名、大阪 84 名
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 刊行物の内容審議、執筆、査読対応、出版を実施した。 2. 講習会を東京 (2/24)、名古屋 (3/3)、大阪 (3/10) で開催。 3. 小委員会の活動方針、シンポのテーマを審議し、活動計画を立案した。
委員会活動の問題点・課題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 講習会にできるだけ多くの人に参加してもらう。刊行物の販売促進。 2. 2006 年度開催予定のシンポジウムテーマと発表内容の決定。